

# 礼拝プログラム

2017年6月25日

司会: 本多兄 奏楽: 大倉姉 通訳: 町田姉

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: \* Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

『驚くべき人の回心』

“Amazing Conversion”

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: \* Benediction

\* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: ホッグ姉、イノサント姉

グリーター: 本多姉、ユーツ姉

ナーサリー: 川久姉、石井姉

チルドレンチャーチ: 大倉姉、奏姉

セキユリティー: モンドラゴン姉

## 来週、2日の礼拝

司会: 井上兄 奏楽: 大倉姉 通訳: 西井師

メッセージ: 「神の愛の深さ」 佐藤岩雄師

賛美: LP190、新聖歌218

アッシャー: 本多姉、リード姉

グリーター: 福島姉、スタンクリフ姉

ナーサリー: 川久姉、奏姉

チルドレンチャーチ: テリケス姉、シラ姉

セキユリティー: ウォーカー兄

## おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒアワー、婦人会総会、スモールグループ、理事会、日語執事会

■今日の礼拝によるこそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けてお越しください。

■明日、ユースがナッツベリーファームに行きます。楽しい時がもてますように。

■来週の礼拝にはケンタッキー州、ルイビルで伝道牧会をしている佐藤岩雄牧師がメッセージを取り次いでくださいます。

■来週の日曜日は卒業生をお祝いするランチがあります Andrew Rodriguez (SDSU), Samuel Howze (SDSU), Kaity Takahashi (Torrey Pines HS), Stephen Honda (Helix HS), Kou Okura (Grossmont HS). おめでとう!

■夏期修養会に行くためにバスに乗車する方は7月4日(火)、午前10時45分までに教会のフロントパーキングに集合してください。バスは11時に出発します。バスの中で食べることができるランチ、飲み物を各自用意してください(バスにはトイレがついていますのでノンストップで会場のウエストモント大学に向かいます)。荷物が多いという方は来週の日曜日に事前に教会に持参していただければ、牧師オフィスにて出発の火曜日までお預かりできます。

## 今週の予定

28日(水) 水曜集会 7:30pm-  
29日(木) 木曜集会 10:30am-

## 客不恵

『そこであながたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである』(エペソ2章19節)

「家族と家族でない人を隔てるもの。それは血の繋がりでない。家族に必要なのは物語である。一緒に作ってきた、家族だけが知る物語。その物語を語れること、その物語を共有していることが、家族であることの証。国家も、故郷も、会社も、家族も、物語がなければ、繋がることは出来ないのである」(面識のない安田佳生という方の Tweet)。

これまでは商品売るためには、顧客がそれを欲しているのか、必要なかというようなことを見極めなければなりませんでした。最近は顧客がその「商品の物語」の中に自らを見出すことができるかというようなことが注目されているそうです。すなわち、物を売るためには、まずその商品の物語が語られる必要があるということです。このことは「物語がなければ繋がれない」という人間の帰属性に着目した今日の新しいセールスポイントとなっています。

そして元祖、物語といえば聖書なのです。多くの人はこの書物を古典と呼びますが、実際のところ、聖書は古典でくられるようなものではなくて、そこには今を生きる私達を含んだ神の物語が記されています。そう、それは天地創造の時から始まり、今も進行中の物語なのです。

私達は毎週、毎日、この聖書の物語を読み、そして聞きます。それは聖書の物語の中に自分を置くことであり、そうすることによって私達もその物語の一部となるのです。そしてこの神の物語を共有する者達の集まりこそが私達の教会なのです。そうです、私達は互いにこの神の物語を共有しているものであり、そこに私達が神の家族と言われる所以があるのです。